

# 世界銀行債券ファンド（毎月分配型）

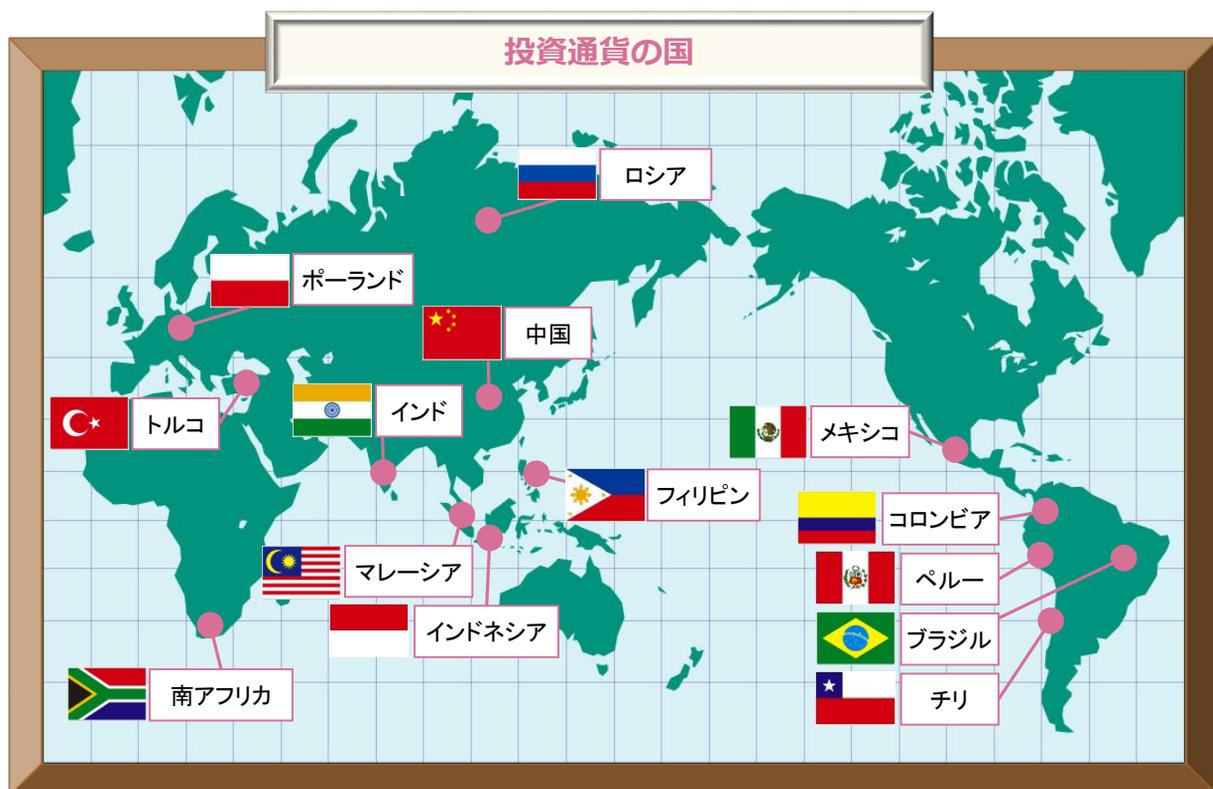
愛称：ワールドサポーター

## 2018年6月～2019年5月の運用状況と 今後の見通しについて

当ファンドは相対的に利回りの高い、新興国通貨建ての世界銀行債券に投資を行ないます。高い金利収入と為替の値上がり益の獲得をめざしつつ、信用力の高い世界銀行債券に投資を行なうことで、信用リスクの低減を図ります。また、新興国通貨の為替変動リスクは先進国通貨と比較して大きくなる傾向にあるため、幅広く分散投資を行ない、為替変動リスクの低減をめざします。

本資料では、2018年6月から2019年5月までの運用状況と今後の見通しについて、実質的な運用を行なう日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからのコメントをご紹介します。

なお、2019年5月末時点では、当ファンドは以下の国の通貨建ての世界銀行債券に投資を行なっています。



※上記の投資通貨の国は2019年5月末時点のものであり、将来変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用概況 (2018年6月～2019年5月)

World  
Supporter

- 2018年6月以降の新興国債券市場は、方向感の定まりにくい展開となりました。米中貿易問題への警戒感がくすぶる中、8月にはトルコリラの急落が新興国市場からの資金流出を招きました。また、年末には米利上げペースが鈍化するとの期待が後退したことや、米国の政治的な不透明感などから市場心理が悪化し、新興国通貨は対円で下落しました。
- 2019年に入ると、FRB（米連邦準備制度理事会）が利上げを急がない方針を示したことや、米中問題への懸念が後退したことなどから、新興国資産は総じて上昇基調となったものの、5月には、米中問題の再燃や、世界景気の減速懸念などから円高が進行し、新興国通貨は下落しました。
- そうした中、当ファンドの基準価額は下落し、当該期間の騰落率は-2.5%（税引前分配金再投資ベース）となりました。



基準価額と純資産総額の推移 (2007年6月21日(設定日)～2019年5月31日)



【基準価額の騰落率】  
(2019年5月末現在)

年初来	1年	3年	設定来
+0.0%	-2.5%	+6.4%	-13.2%

【分配金実績(1万口当たり、税引前)】  
(2019年5月末現在)

設定来合計
6,140円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※ 騰落率は税引前分配金再投資ベースの値をもとに算出しています。  
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。  
 ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

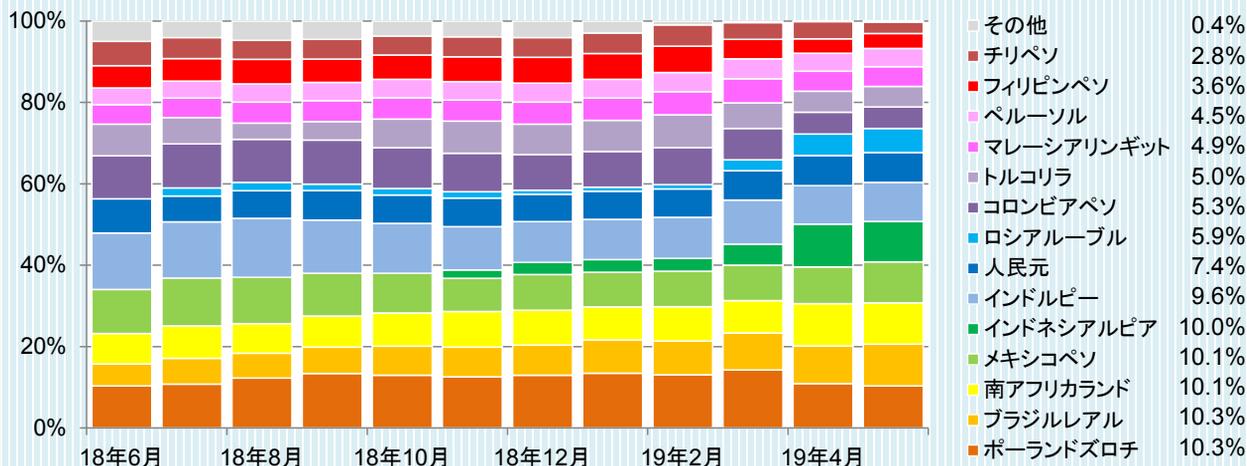
投資通貨の推移と組入れの状況 (2018年6月~2019年5月)

World  
Supporter

- 当ファンドでは、当該期間において、投資通貨を継続的に増やしました。ペルーソルやロシアルーブル、インドネシアルピアを組入れた一方、コロンビアペソやインドルピーの組入比率を引き下げました。
- ペルー経済は、2017年に起きた自然災害や政治問題から大きなダメージを受けたものの、2018年には力強い景気回復の可能性が高まったことから、6月にペルーソルを新たに組入れました。また、昨年3月に就任した新大統領によって、改革や景況感の改善が進むとみており、同国に対して一層ポジティブな見方を強めています。
- 2018年7月には、ロシアルーブルの組入れを再開し、足元で組入比率を徐々に引き上げています。米大統領選挙への介入疑惑に伴う経済制裁が昨年4月に発表され、通貨の大幅な下落から、バリュエーション面での魅力が高まったことが背景にあります。また、同国では近年、信用力の改善が進んでおり、今年2月には、主要格付会社3社全てから、投資適格級の格付を付与されました。
- 2018年11月にインドネシアルピアを新たに組入れた後、継続的に組入比率を引き上げました。同国では昨年、インフレ率が抑制されていたにもかかわらず、複数回にわたる利上げが行なわれたことから、回国債券の実質金利 (名目金利からインフレ率を差し引いた金利) は魅力的な水準にあります。
- 南アフリカでは、2019年5月の総選挙で与党・アフリカ民族会議が勝利し、改革派のラマポーザ大統領の再選が決定しました。これにより、同氏が汚職の排除や構造改革を積極的に進めることができるとみられたことから、通貨ランドの組入比率を引き上げました。



外国通貨別構成比の推移 (2018年6月末~2019年5月末)



※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからの情報をもとに作成しています。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の通貨別構成比率であり、外国投資信託の純資産総額に対する比率です。

※ その他や端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# ポートフォリオの状況

World  
Supporter



## 主要投資対象ファンド\* について

\*「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」

### 【ポートフォリオ特性値】

(2019年5月末現在)

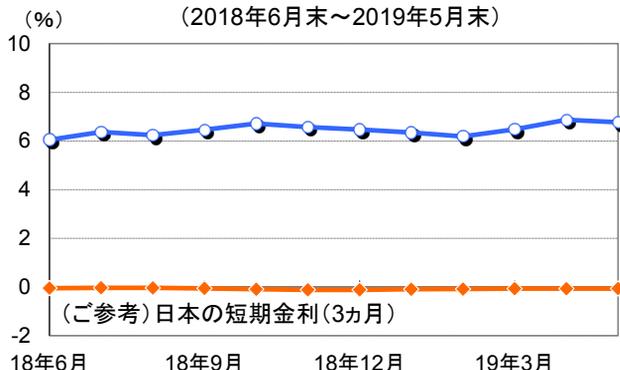
ポートフォリオの最終利回り	6.77%
ポートフォリオの直接利回り	5.17%
ポートフォリオの平均残存年数	1.40年

- ※ 利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
- ※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

- ※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからの情報をもとに作成しています。

### 【最終利回り推移】

(2018年6月末～2019年5月末)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

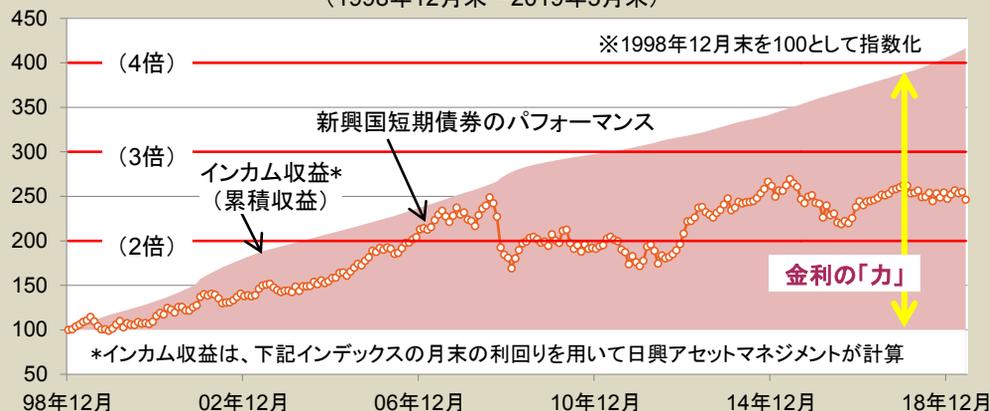
## ご参考

## 投資成果を下支えするインカムの力

- 海外債券投資において、パフォーマンスをけん引する要因の一つに債券のインカム収益が挙げられます。当ファンドが投資対象とする新興国通貨建債券は、**相対的に金利水準が高く、中長期的なインカム収益の積み上げ**が期待できます。
- 当ファンドは高い信用力を持つ世界銀行債券を投資対象とするため、**信用リスクを抑えながら相対的に高いインカム収益を獲得**することが期待できます。また、**金利変動リスクを抑制**するために、短期債券を中心に投資を行ないます。

### (ご参考)【新興国短期債券のパフォーマンス(円ベース)】

(1998年12月末～2019年5月末)



\*新興国短期債券: JPモルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラス(米ドルベース)を円換算

※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

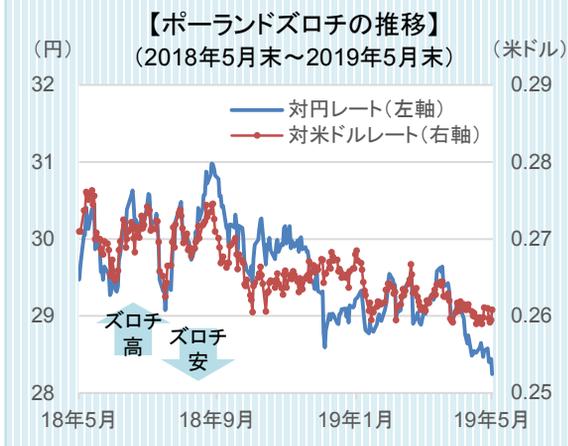
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 主な投資通貨国の状況について

World  
Supporter

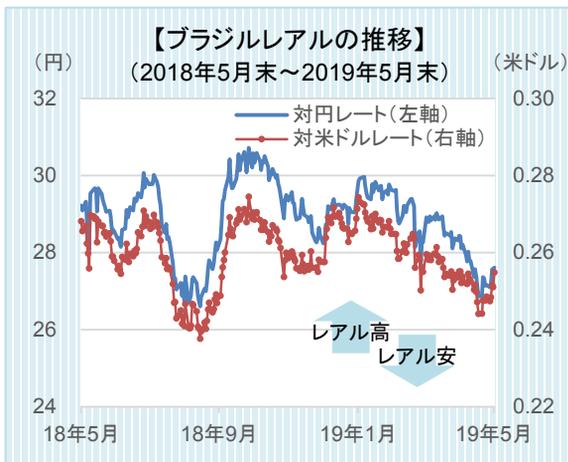
### ポーランド

- 同国は2008年の金融危機による景気後退を免れた、EU（欧州連合）唯一の国であり、近年では隣国ドイツの経済が減速傾向となる中でも、**堅調な内需や民間投資の回復などを背景に底堅い成長を維持**しています。
- 同国の力強い経済成長は、**財政収支、貿易収支の大幅な改善**を実現させ、信用格付の上昇につながりました。
- インフレ率が安定していることから、中央銀行は政策金利をしばらく据え置くとみられ、**堅調な経済状況と相まって引き続き有望な投資先となる見込み**です。



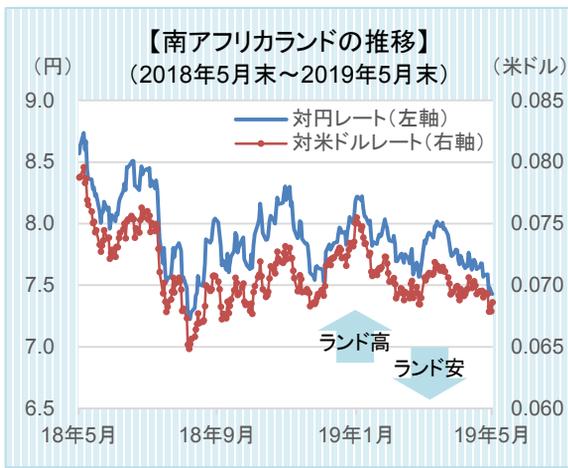
### ブラジル

- 昨年10月の大統領選挙に対する不透明感から、同国通貨は大きく下落し、市場心理も急速に悪化しました。しかし**選挙後の同国に対する見方は、より建設的なもの**になっています。
- 財政の健全化に向けて同国が取り組む年金改革に関し、足元で**楽観的な見方を強めて**います。
- 4月には同法案が最初の関門となる下院憲法司法委員会で可決されました。早ければ年内にも法案の成立が見込まれる中、通貨の底堅い動きが期待されます。



### 南アフリカ

- 今年5月の総選挙の結果を受け、ラマポーザ大統領の立場はより強固なものになるとみられ、足元で同国への**ポジティブな見方を強めて**います。
- 高い失業率や所得格差といった問題はあるものの、**政治的な不透明感の後退**により、通貨ランドは比較的堅調に推移するとみています。
- インフレ見通しが落ち着いていることから、中央銀行は**現状の金融政策を維持しないし引き下げる可能性**があり、その場合、同国債券の投資魅力は増すと考えられます。



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者的見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 今後の新興国市場の見通しについて①

World  
Supporter

## 先進国における金融政策の転換は、新興国債券にポジティブ

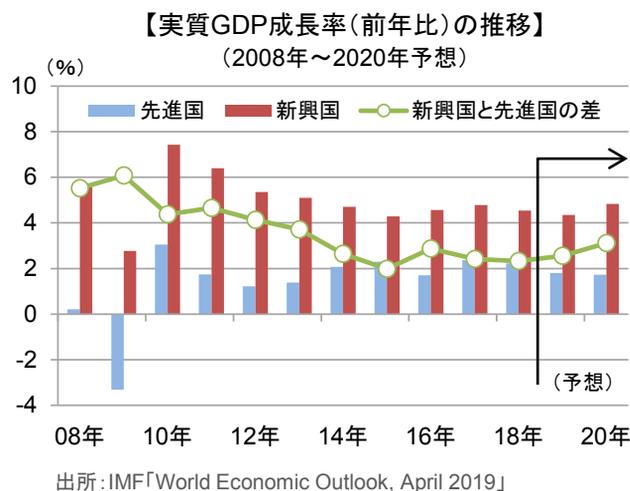


- 今年に入り、FRBはハト派的な姿勢への転換をみせており、経済指標の動向に応じて利上げの是非を判断する姿勢を強めています。3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、**年内の利上げを見送ることが示唆され、新興国市場には安心感が拡がりました。**
- その後、米中貿易問題が再燃したことで、新興国市場は再び資金流出に見舞われましたが、パウエル長官をはじめとするFRBの各高官が、**景気下振れリスクが高まれば金融緩和への転換も辞さない**姿勢を相次いで示したほか、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁も、足元の景気動向を踏まえ、**追加緩和に前向きな姿勢**を示しました。こうした状況は、新興国債券にとって追い風になるとみられます。

## 米中問題には注意を要するが、新興国債券の投資魅力は健在



- 新興国経済は中国の景気動向に大きく影響を受けますが、近年の中国の景気減速は**既に十分に織り込まれている**とみています。昨年中国経済にとって最大の重石となったデレバレッジ（債務の削減）の取組みが緩和されたこともあり、中国経済は厳しい局面を越えて**足元で回復の兆し**を見せ始めています。
- 米中貿易問題が長期化する可能性には注意が必要ですが、**中国政府は金融・財政の両面から景気刺激策を打ち出す**ことで、米国による制裁関税の影響をある程度相殺できると考えます。
- 先進国の経済成長が緩やかな減速を示す一方、新興国の経済は引き続き堅調に推移するとみられ、**先進国と新興国の経済成長の差は再び拡大**すると見込まれます。
- FRBがハト派的な姿勢を強める中、年内の米利上げが想定されないことは新興国債券にとってポジティブであり、新興国の安定したファンダメンタルズと相まって、**魅力的な投資資産としての注目を集める**と考えます。



当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドリンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方針あるいは考え方等を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 今後の新興国市場の見通しについて②

World  
Supporter



### 個々の新興国を丁寧に調査し、成長期待が高い国の債券に投資



- 今後の新興国市場に対し、弱気な見通しが持ち上がる一方、個々の国をつぶさに見れば、改善傾向にある市場も少なくありません。例えばトルコやロシア、南アフリカでは、昨年の通貨下落によって**経常収支の大幅な改善**がみられたほか、インドネシアやフィリピン、ロシアのように**信用格付の引上げ**が行なわれた国もみられます。加えて、**為替水準が過去に比べて低い通貨も多く、市場心理の回復に伴う通貨の上昇も期待**されます。こうした投資対象の選別により、新興国債券市場は昨年よりも高いパフォーマンスが期待できると考えています。
- 当ファンドでは引き続き各国の状況を注視し、新興国市場を取り巻く状況を慎重に見極めながら、相対的に高い利回りと値上がり益の獲得をめざして運用を行なって参ります。

【組入上位4通貨の実質実効為替レート\*推移】  
(2005年1月末～2019年5月末)

\* 特定の2通貨間の為替レートだけでは捉えられない、相対的な通貨の実力を測るための総合的な指標(物価調整後)。



※グラフ起点を100として指数化

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドリンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

## 投資信託で分配金が支払われるイメージ

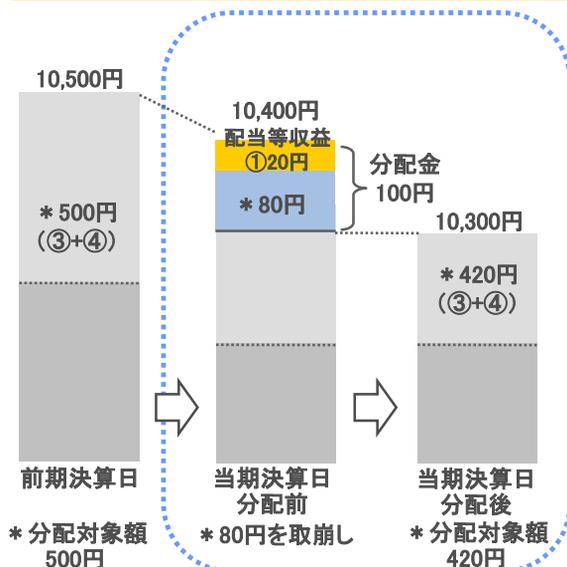
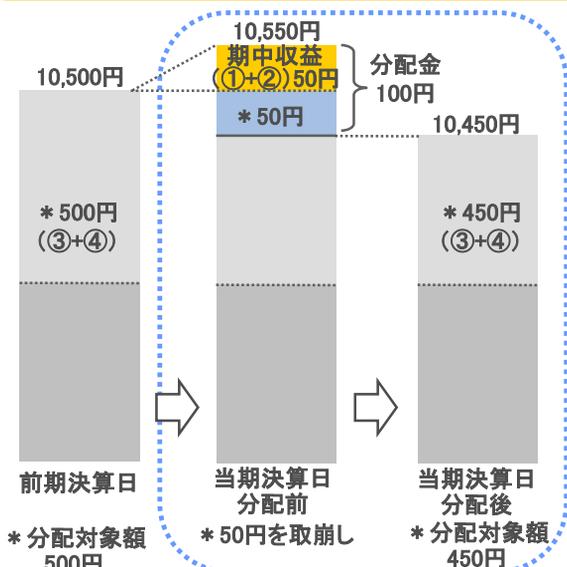


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

### 前期決算から基準価額が上昇した場合

### 前期決算から基準価額が下落した場合

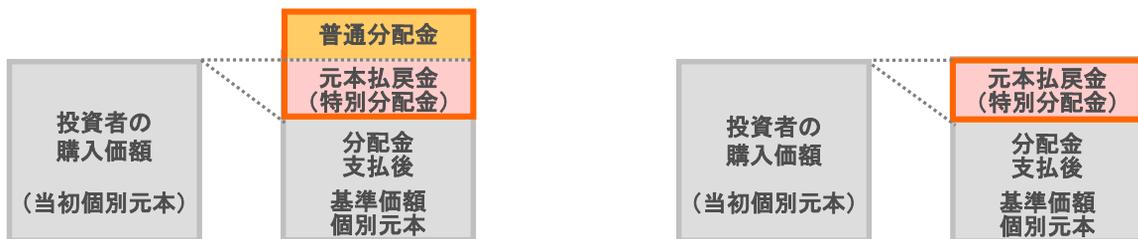


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## 【お申込みメモ】

商品分類	追加型投信／海外／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2007年6月21日設定)
決算日	毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日                      ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日                              ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 【手数料等の概要】

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

## &lt;申込時、換金時にご負担いただく費用&gt;

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.24%*(税抜3%)以内</u> *消費税率が10%になった場合は、 <u>3.3%</u> となります。 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

## &lt;信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用&gt;

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し年率1.295%*(税抜1.223%)程度が実質的な信託報酬となります。 *消費税率が10%になった場合は、 <u>1.313%</u> となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.972%*(税抜0.90%)、投資対象とするケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.323%程度となります。 *消費税率が10%になった場合は、 <u>0.99%</u> となります。 当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 【お申込みに際しての留意事項】

### リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

### 【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## 【委託会社、その他関係法人】

### 委託会社

日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

### 受託会社

野村信託銀行株式会社

### 販売会社

販売会社については下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
〔ホームページ〕 [www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)  
〔コールセンター〕 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○	
池田泉州IT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
株式会社さらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○	○	
クレディ・スイス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第66号	○	○	○
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	○
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○	
浜銀IT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。